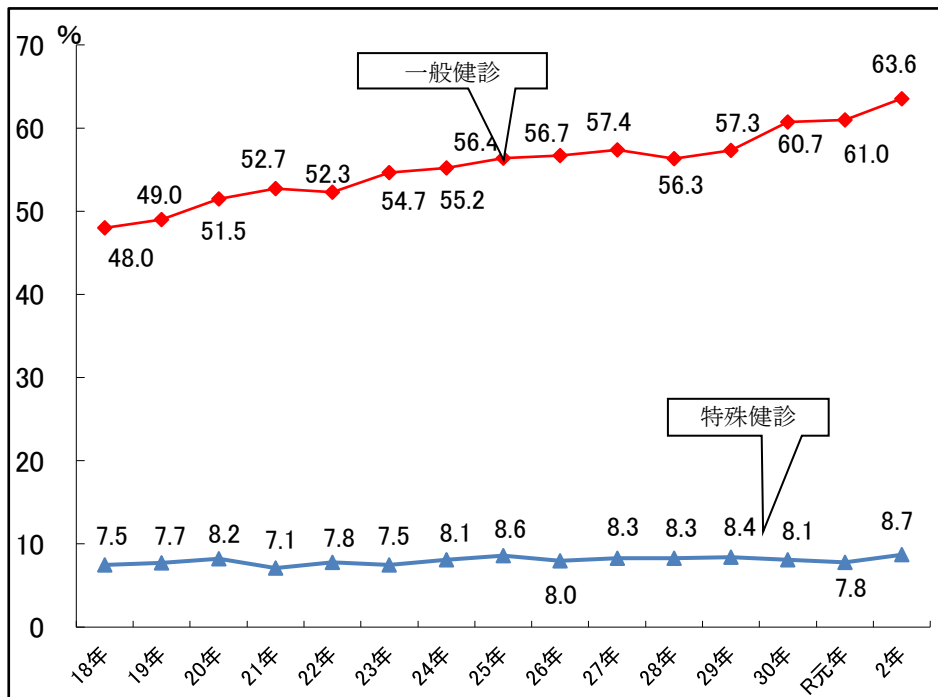
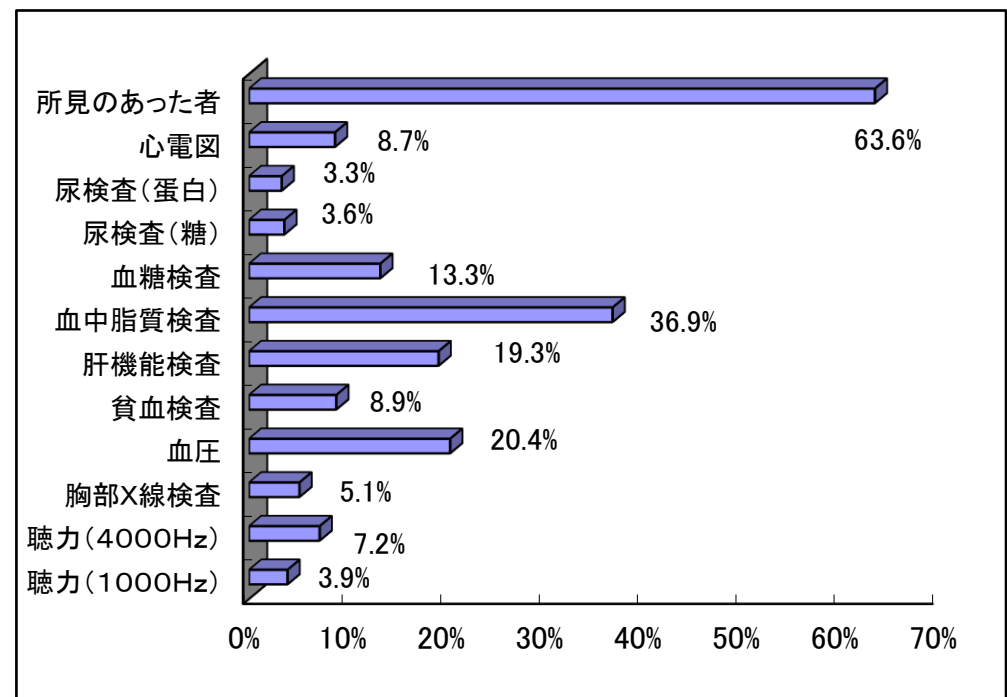


2. 健康診断有所見者の推移

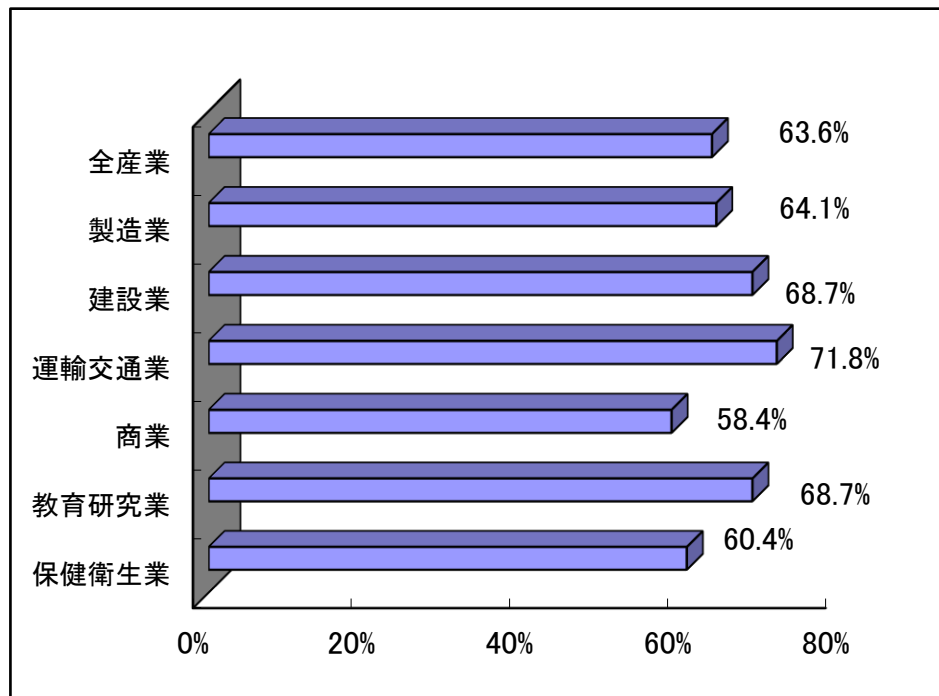
健康診断種類別・有所見率の推移



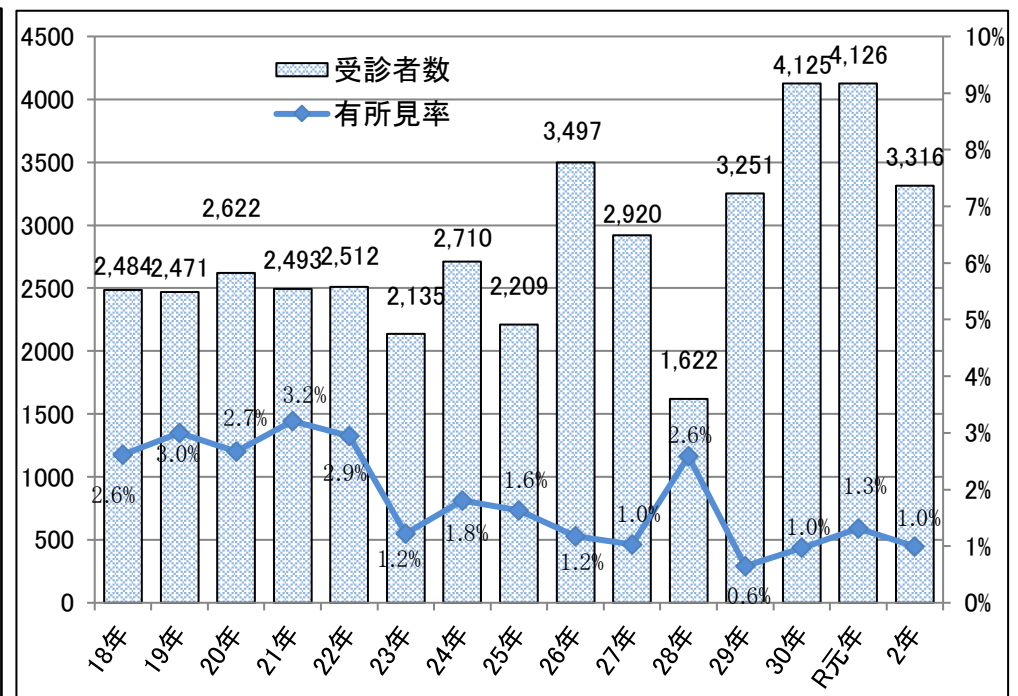
令和2年 項目別・一般健診 有所見率



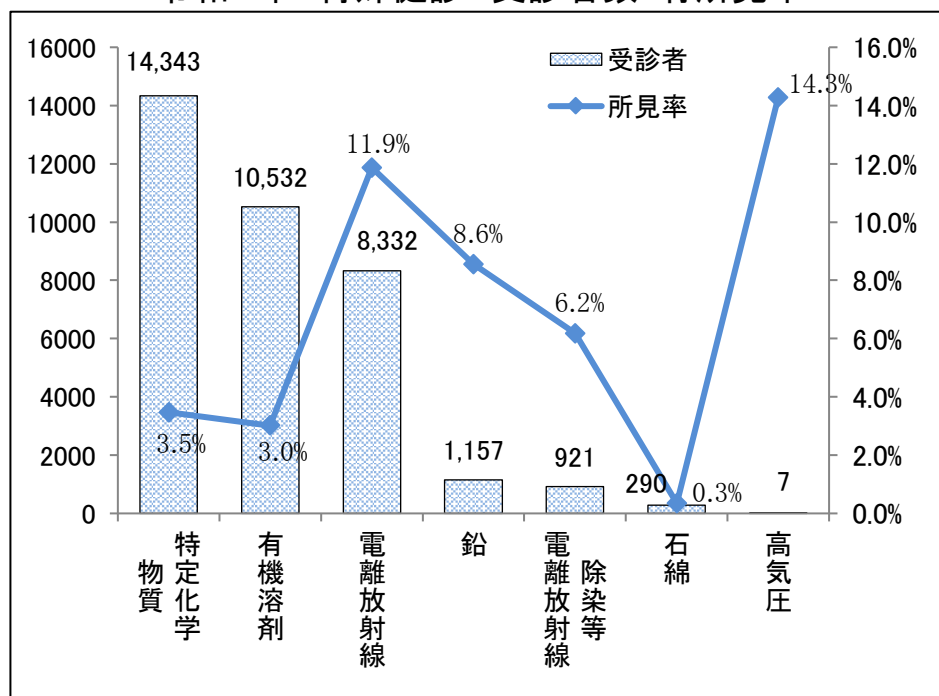
令和2年 業種別・一般健診 有所見率



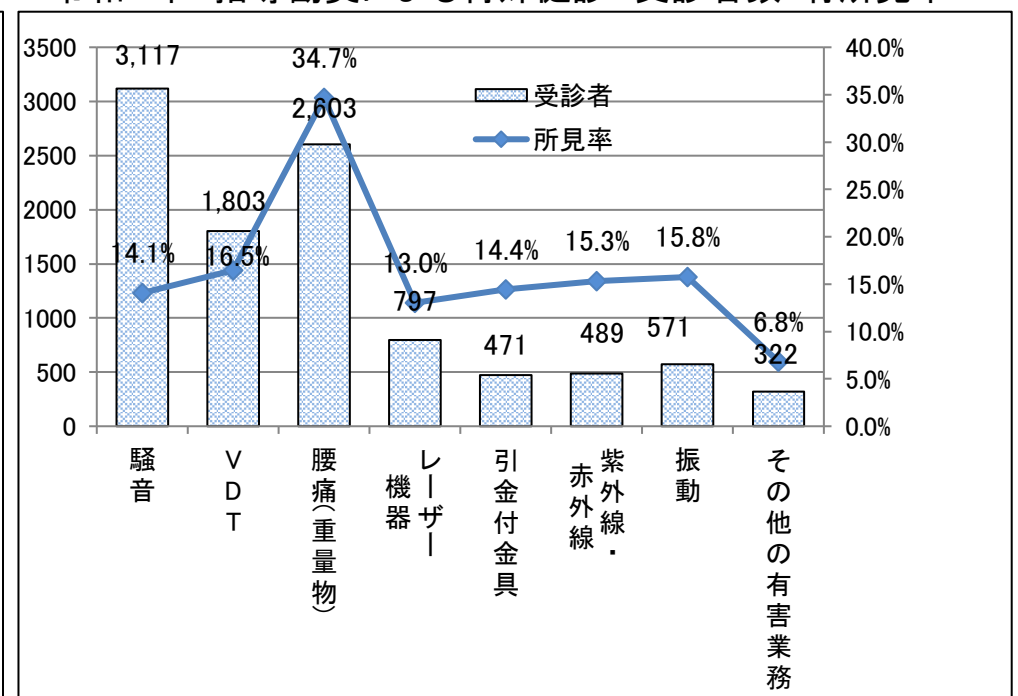
じん肺健診 受診者数・有所見率の推移



令和2年 特殊健診 受診者数・有所見率



令和2年 指導勧奨による特殊健診 受診者数・有所見率



1 定期健康診断（一般健診）の実施結果

- ① 有所見率は増加傾向で推移し、令和2年は63.6%と10年前と比べて11.3%の増加となっている。
- ② 健診項目別有所見率では、血中脂質検査が36.9%と最も高く、次いで血圧、肝機能検査、血糖検査の順となっている。
- ③ 業種別の有所見率では、運輸交通業、建設業、教育研究業で高率となっている。

2 じん肺健康診断の実施結果

- ① 受診者数は、平成29年以降3～4千人台で推移し、令和2年は3,316人であった。
- ② 有所見率は低下傾向にあり、近年は1%前後で推移している。令和2年の有所見率は、1.0%となっている。

3 特殊健康診断及び指導勧奨による特殊健康診断の実施結果

- ① 令和2年の特殊健康診断の受診者数は特定化学物質が最も多く、次いで有機溶剤、電離放射線の順となっている。有所見率は、高気圧が14.3%と最も多く、次いで、電離放射線、鉛の順になっている。
- ② 令和2年の指導勧奨による特殊健康診断の受診者数は、騒音が3,117人と最も多く、次いで腰痛（重量物）、VDTの順となっている。有所見率では、腰痛（重量物）が34.7%と最も高く、次いでVDT、振動の順となっている。